

学校教育目標	「ともに みとめあい おしえあい かがやこう 富岡」 【知】進んで学び、探求する子を育成します 【徳】お互いに認め合える子を育成します 【体】健康で安全な生活ができる子を育成します 【公】地域の人とともに生きる子を育成します 【開】様々な社会の変化の中、広い視野をもつ子を育成します				
	創立 150 周年 児童生徒数: 560 人	学校長 浅野 修一 主な関係校: 富岡中学校・富岡東中学校	副校長 雨宮 端	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	富岡中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<持続可能な社会の創造に貢献する力>	富岡中学校 西富岡小学校 能見台小学校 能見台南小学校	「TWO YOU」 授業研究会のテーマは「【優】自己にも他者にも思いやりのある子【勇】未来を見ずえ、一歩踏み出し、表現できる子」として設定。 ○中学校は年1回の授業公開、小学校は輪番で授業公開。授業後は、教科ごとに分科会を開催。 ○夏休みに人権、自分づくり等の全体研修会を開催。

中期取組目標	「活力と魅力あふれる学校をめざします」 ・子ども一人ひとりが安心して気持ちよく生活・学習できる環境がつけられ、楽しい学校生活が営まれています。 ・子ども一人ひとりが学習の楽しさや喜びを実感できる授業づくりが進められ、思考力・判断力・表現力が高まっています。 ・教職員のよさを生かしながら、協力支援体制の充実や指導力の向上、危機管理体制の確立が図られています。 ・PTA及び地域との連携を密にし、学校・家庭・地域の教育力を生かし、地域に開かれた学校づくりが推進されています。
--------	--

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>生きてはたらく知</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>運営A部会</td> </tr> </table>	知	生きてはたらく知	担当	運営A部会	①読書、スキル学習などの日常的な活動を継続し、知識、技能を習得できるよう意識した授業展開を図る。②研究テーマを「かかわり合い 認め合い 伝え合おうとする子の育成」とし、「とみおか150」を意識した活動を通して、学んだことを活用し、考え、表現する活動を設定する。
知	生きてはたらく知				
担当	運営A部会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>運営B部会</td> </tr> </table>	徳	豊かな心	担当	運営B部会	①ペアなかよし交流を積極的に推進し、行事や学習活動にも異学年交流を取り入れ、異学年同士のつながりを高める。②Y-Pアセスメントを実施し、学年や学級の児童の実態や特徴をとらえ、よりよい集団作りに生かす。③児童会が中心となって行う人権週間や、平和教育などを通して、児童の心の育成に取り組む。
徳	豊かな心				
担当	運営B部会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育部</td> </tr> </table>	体	健やかな体	担当	体育部	①児童委員会が中心となり、ドッジボールや長縄、走力を高めるための集会を計画・実施し、楽しく体を動かすことができる機会を設定する。②健康重点テーマに沿ったクラス独自のめあてや取り組みを決め、年間を通して全校で健康づくりに取り組む。
体	健やかな体				
担当	体育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公 開</td> <td>自分づくり教育 (キャリア教育)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部(特活部)</td> </tr> </table>	公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)	担当	教務部(特活部)	①学年に応じて地域の方や身近な大人との交流や体験的に学ぶ活動を取り入れ、他者との関わりの中で一人ひとりの自己有用感を高める。②学習面・生活面・行事等において目標をもって活動することを大切にする。振り返りを大切にし、成長したことが実感できるようにする。
公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)				
担当	教務部(特活部)				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ防止対策委員会	①人権教育や道徳科、学級活動等を通して、自他の大切さを認めることができる子の育成に努め、いじめの未然防止に取り組む。②アンケートや面談、健康観察等を活用していじめの早期発見に努めるとともに、いじめ解消に向けた迅速且つ適切な対処を組織的に進める。
いじめへの対応					
担当	いじめ防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・ 組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	人材育成・ 組織運営(働き方)		担当	教務部	①経験の浅い職員によるメンターチームを編成し、研究活動や授業公開、実技研修などを計画的に行い、学習指導・児童指導の実践力の向上を目指す。②年間計画を基に、教務会やABC運営部会などで連携を取りながら、全職員が学校運営に参画できるようにする。③会議の開始時刻を見直し、教材研究・事務処理の時間の確保に努める。
人材育成・ 組織運営(働き方)					
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>校内委員会</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	校内委員会	①子どもの困り感に応じて、保護者・担任・特別支援教室担当教諭で支援の方法や協力体制を話し合いながら計画的に支援を進める。②教職員の特別支援教育への理解を深めるため、個別支援級や特別支援教育コーディネーターを中心に研修を行う。
特別支援教育					
担当	校内委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">児童生徒指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>運営B部会</td> </tr> </table>	児童生徒指導		担当	運営B部会	①「学校のきまり」を全教職員で共通理解し、定期的に見直すことで、すべての児童に同じ視点で継続的に指導に当たるとともに、各学級で肯定的、共感的な授業づくりや学級づくりをして、児童の自尊感情を育てる。②専任を中心として、組織的に対応する。関係機関との連携やケース会議など、対応の充実を図る。
児童生徒指導					
担当	運営B部会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">安全管理</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>運営C部会</td> </tr> </table>	安全管理		担当	運営C部会	①避難訓練、安全・防犯に関する訓練を行うことで、児童が安全かつ迅速に避難することができるように意識を高める。②交通安全月目標を設定し、自ら登下校の安全を意識できるようにする。③登下校時に気を付けるポイントを登校班班長副班長会議で確認し、登校班の集いで班ごとに歩き方や危険箇所について考える時間を設ける。
安全管理					
担当	運営C部会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">地域連携 学校運営協議会</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	地域連携 学校運営協議会		担当	教務部	①地域学校協働本部を活性化し、学校・地域コーディネーターとの連携を深めることで、地域の教育力を生かし、児童の学習活動の充実を図る。②年5回の学校運営協議会を通じ、学校の教育活動を地域に積極的に開示し、本校の教育目標に沿った協力を地域に要請できる体制を整え、地域と協働で子どもの教育にあたる。
地域連携 学校運営協議会					
担当	教務部				